

「日本化粧品検定1級対策テキスト コスメの教科書第2版(2017年10月20日第5刷)」に誤植・誤掲載箇所がありました。

下記の正誤表の通り訂正させていただくとともに、深くお詫び申し上げます。

[正誤表]

・P25 パーマの始まり
誤)ドイツのチャーチル・ネッスラー
↓
正)ドイツのチャールズ・ネッスラー

[正誤表]

・P28 <復習してみましよう！>
誤)太古官布告
↓
正)太政官布告

【回答】2

お歯黒は11世紀半ば(平安時代)には一般市民にも広がり、
明治時代の太古官布告で禁止されるまで続いた。

正) 太政官布告

パーマの始まり

(1905)



正) チャールズ

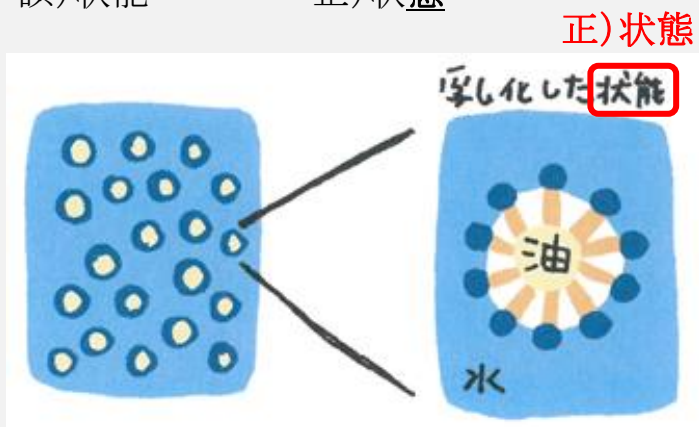
ドイツのチャーチル・ネッスラーがホウ砂と高熱によって髪にウェーブをつける「ネッスルウェーブ」を発明。1920年代にはアメリカで流行しました。

「日本化粧品検定1級対策テキスト コスメの教科書第2版(2017年10月20日第5刷)」に誤植・誤掲載箇所がありました。

下記の正誤表の通り訂正させていただくとともに、深くお詫び申し上げます。

[正誤表]

・P34 界面活性剤 図
誤) 状態 → 正) 状態



[正誤表]

・P94 <皮下脂肪のしくみ>
誤) たくわえがなくなり、 → 正) たくわえられなくなり、

<皮下脂肪のしくみ>

脂肪細胞は胎児期・乳児期・思春期のみ増加し、成人期には数が変わることはなく、1個1個が大きくなったり、小さくなったりするといわれていました。成人期でも肥満が進むと個々の脂肪細胞にたくわえがなくなり、細胞分裂により増えることがあるということが最近の研究でわかりました。

正) たくわえられなくなり、

「日本化粧品検定1級対策テキスト コスメの教科書第2版(2017年10月20日第5刷)」に誤植・誤掲載箇所がありました。

下記の正誤表の通り訂正させていただくとともに、深くお詫び申し上げます。

[正誤表]

・P104 <有効成分> 表【血行促進系】

誤) ビタミンE誘導体 → 正) ビタミンE誘導体、センブリエキス

誤) センブリエキス → 正) t-フラバノン(トランス-3,4'-ジメチルヒドロキシフラバノン)

<p>血行促進系</p> <p>(血流を促し 栄養を供給)</p>	<p>医薬品: ミノキシジル *(A)</p> <p>→ 毛乳頭を刺激し毛母細胞の増殖促進</p>
	<p>医薬品: 塩化カルプロニウム *(C1)</p> <p>→ 血管を拡張し、血流量を増大させ、育毛を促進</p>
	<p>ビタミンE誘導体 正) ビタミンE誘導体、センブリエキス</p> <p>→ 末梢血管を拡張して血行を促進する</p>
	<p>センブリエキス (t-フラバノン) *(C1)</p> <p>→ 毛髪を退行期へ移行させる TGF-βの量を減らし、毛成長を促進</p>

正) t-フラバノン(トランス-3,4'-ジメチルヒドロキシフラバノン)

[正誤表]

・P123 表【マンダリン】抽出部位

誤) 果実 → 正) 果皮

ローズウッド	ラヴィンサラ	ヤロウ	メリッサ	ミルラ	マンダリン	ベンゾイン	ヘリクリサム	ベチバー	ペックパー	ブラックペックパー	プチグレン	フェンネル	ローザ	パルマ
														

正) 果皮



「日本化粧品検定1級対策テキスト コスメの教科書第2版(2017年10月20日第5刷)」に誤植・誤掲載箇所がありました。

下記の正誤表の通り訂正させていただくとともに、深くお詫び申し上げます。

[正誤表]

・P130 表【シプレー】代表作
誤) LUSH2(グッチ) → 正) RUSH2(グッチ)

シプレー	オークモス(苔)とシトラスに、フローラル、アニマリックなどの複雑なコンビネーションが特徴となっている香り	正) RUSH2 LUSH2 (グッチ)
------	--	--

[正誤表]

・P142 表【ビタミンD】
誤)

皮膚における主な働き

- ・メラニン色素の沈着防止
- ・コラーゲンの合成促進
- ・血管壁の強化

欠乏症状

- ・皮下出血(壊血病)
- ・シミ、そばかす

含有食品

イチゴ、キウイフルーツ、ブロッコリー、ピーマンなど

正)

皮膚における主な働き

- ・乾癬における表皮細胞増殖抑制作用、炎症反応の抑制

欠乏症状

- ・特になし(皮膚において)

含有食品

さけ、いわし丸干し、にしん、干しシイタケなど

ビタミンD	<ul style="list-style-type: none"> ・メラニン色素の沈着防止 ・コラーゲンの合成促進 ・血管壁の強化 	<ul style="list-style-type: none"> ・皮下出血(壊血病) ・シミ、そばかす 	イチゴ、キウイフルーツ、ブロッコリー、ピーマンなど
-------	--	--	---------------------------

正)・乾癬における表皮細胞増殖抑制作用、炎症反応の抑制

正)・特になし(皮膚において)

正)さけ、いわし丸干し、にしん、干しシイタケなど

「日本化粧品検定1級対策テキスト コスメの教科書第2版(2017年10月20日第5刷)」に誤植・誤掲載箇所がありました。

下記の正誤表の通り訂正させていただくとともに、深くお詫び申し上げます。

[正誤表]

・P153 表3 【育毛剤(養毛剤)】

誤) 発毛促毛 → 正) 発毛促進

育毛剤(養毛剤)	脱毛の防止および育毛を目的とする外用剤である。	液状、エアゾール剤。	育毛、薄毛、かゆみ、脱毛の予防、毛生促進、 発毛促毛 ふけ、病後・産後の脱毛、養毛。
----------	-------------------------	------------	---

正) 発毛促進